



動物レスキュー通信

2017年6月 第49号 (平成29年6月1日発行)

発行元
一般財団法人 国連世界動物救済支援機構 詩月財団

詩月(しづく)：詩月財団 理事長
愛玩動物飼養管理士 一級
ペット災害危機管理士 三級
お問い合わせ : sizuku.foundation@gmail.com

ネコちゃんの不思議 なぜ撫でると咬みつく事があるの?



私自身もそうであるように、ネコちゃんの飼い主さんはネコちゃんを撫でるのが大好きな方が多いと思います。お宅のネコちゃんは撫でられるのが好きですか？それとも嫌いですか？どこを撫でられるのが好きなのでしょうか？又、膝の上で長時間撫でられている事が好きなネコちゃんや、膝の上に乗るのは好きだけれど撫でられる嫌がって飛び降りてしまつネコちゃんもいると思います。撫でられるのが好きで、しばらく黙つて撫でられているにも関わらず、突然撫でている人の腕や手に咬みついたり引ついたりするネコちゃんもいます。そんな時、「なぜ咬むの？」私は何か悪い事をしたのか？不思議に思つたり、悩んでしまつ、突然飼い主さんもいるかもしれません。しかしネコちゃんが突然咬みついたりする行動には何か理由があるかもしれません。

突然咬みつく理由は？

ではどんな理由が考えられるのでしょうか？①撫でられ始めた時は気持ちよく感じていたのに、繰り返して撫でられているうちに痛みを感じたり、興奮してきたり、静電気が生み出されてしまつたりしていやな思いをした。②飼い主さんから見ればネコちゃんがかまつて欲しそうに見えたけれど、ネコちゃんはかまわれたい気分ではなかつた。③ネコちゃんは膝の上のんびりとしようとしただけなのに、飼い主さんが撫で始めてしまった。このように、その時々

で様々な理由があるのかもしれません。また、飼い主さんはネコちゃんが突然咬んだり引ついたりしているように感じているのですが、実はネコちゃんのその行動は前触れがあったかもしません。ソワソワしていませんでしたか？尻尾をピクピク動かしていましたか？耳が激しく動いていませんでしたか？身体がこわばつていませんでしたか？隠つていませんでしたか？これらネコちゃんの行動はネコちゃんが不快に思つてしたり、警戒してたりする気持ちを警告しているのです。しかしその警告に飼い主さんが気付いていないだけれども、それは警告しているにも関わらず嫌な事をやめられないで攻撃すると、その攻撃によって飼い主さんが嫌な事をやめてくれるので、次回からはやめてほしい時に攻撃すれば嫌なことから解放されるという学習をしてしまい、咬み癖がついてしまつことがあります。ネコちゃんにこのような癖をつけてしまわいためにも、警告の行動を見つめたらやめるようにしてあげるのはとても大切なことです。飼い主さんがネコちゃんの気持ちや行動をきちんと観察し、普段はそれほど撫でられるのを嫌がる事はないのに、突然ネコちゃんに以下のようない行動がみられた時は注意してあげて下さい。撫でた時に①突然ネコちゃんが背中の皮膚を細かく震わせてまるで痙攣しているようにひきつらせている。②突然走り出す。③突然ジャンプする。④いつも以上に激しく尻尾を振る。⑤自分の尻尾を必要以上に追いかける。⑥自傷行為をしてしまう場合は獣医さんに診てもらう事をお勧めします。なぜなら神経疾患（脊髄や脳の異常、中毒症、感染症など）、皮膚病（食物アレルギーやアトピー性皮膚炎など）、筋肉障害などが原因で撫でられる事に痛みを伴つたり不快な気分になつたりしている場合もあるからです。このようにネコちゃんが喜ぶ撫で方や、撫でた場所でも今まで違つた反応をしていたら注意してあげるなど、ネコちゃんをよく観察し、ネコちゃんの心を出来るだけ理解してあげることでより良い関係を築く事ができ、それが不幸なネコちゃんを減らす第一歩につながると信じております。（詩月）

病気の可能性もある